

第1四半期業績概要

(単位:百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減額	前期比
売上高: 9.9%増収、経常利益 27 百万円増 ・PIM 事業の売上回復と半導体資材事業の 需要増により 9.9%の増収 ・前第1四半期に発生した為替差損 (△56 百万円)に対し、当第1四半期為替差損 は△2 百万円に縮小、経常利益・四半期純利 益については黒字に転換				
売上高	596	655	59	9.9%
営業利益	38 6.4%	30 4.7%	-7	-20.1%
経常利益	-8 -1.5%	18 2.8%	27	
第1四半期 純利益	-8	13	22	

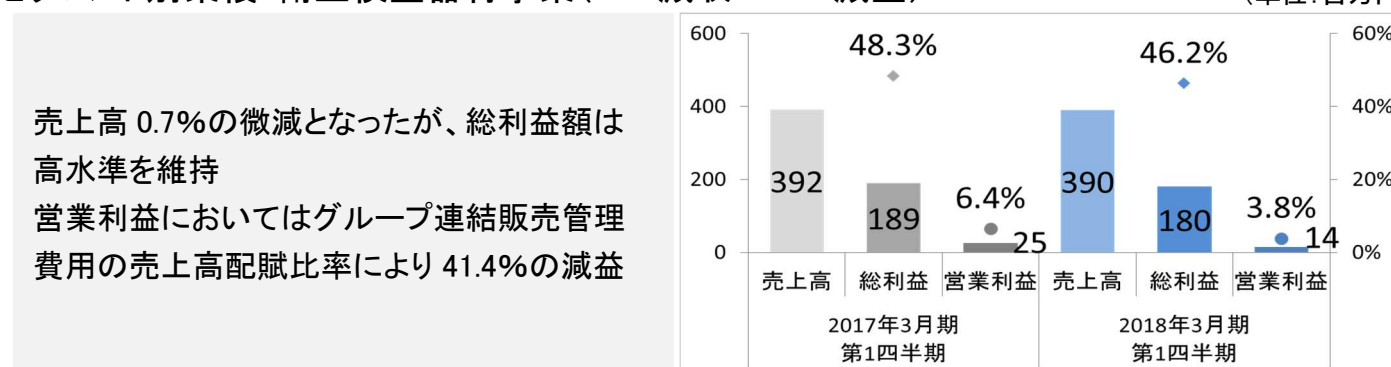
セグメント別業績: PIM 事業 (47.4%増収・22.3%増益)

(単位:百万円)



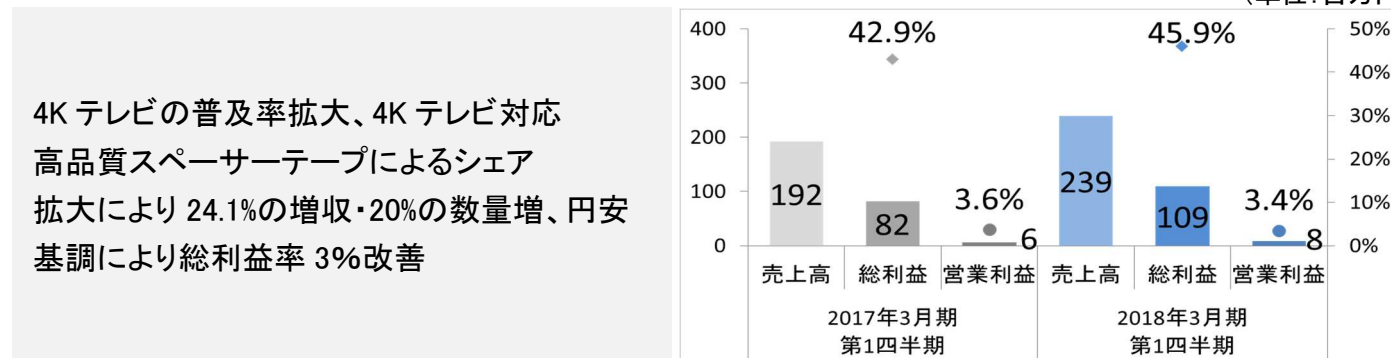
セグメント別業績: 衛生検査器材事業 (0.7%減収・41.4%減益)

(単位:百万円)



セグメント別業績: 半導体資材事業 (24.1%増収・17.9%増益)

(単位:百万円)



49 期及び今後の重点施策と進捗状況

PIM 事業重点施策

- ・自動車用ターボ部品・セラミックス球の事業化
- ・ノズルベーン(ディーゼル用:HK30)量産技術確立
- ・セラミックス球量産技術確立、ポア(空泡)レス
- ・ガソリン VG 用ノズルベーン開発・商品化(新素材:1000°C仕様)
- ・高熱伝導率(70~100W)窒化珪素ヒートシンク商品化

進捗状況

- ・2017年8月1日、世界最大手のターボチャージャーメーカーであるボルグワーナー社を主要取引先とする MMT 社とノズルベーンをはじめとするターボ部品数点の供給に関する基本合意書(MOU: Memorandum of Understanding)を締結
- ・次世代ガソリンターボ(ガソリン VG: 1000°C仕様)について国内大手ターボチャージャーメーカー向けに具体的案件が進行中
- ・セラミックスボールベアリング、パワーデバイス用ヒートシンク等の商品化への体制を強化

衛生検査器材事業重点施策

- ・確実なプラス成長
- ・架電件数拡大に向けた新たな仕組みづくり→営業体制の強化

進捗状況

- ・滋賀工場に新たに導入した社内 IT システム部門が独自に開発したコンピューターシステムを有効活用し、架電件数の拡大に努める
- ・大幅なプラス成長を達成すべく、事業部の組織体制を刷新し強化

半導体資材事業重点施策

- ・売上 10 億円越え、総利益率 50%回復
- ・4Kテレビ普及に伴う更なるシェア拡大と徹底したコスト低減

進捗状況

- ・当社スペーサーテープを 2 倍使用する4K テレビの需要拡大期に入り約 20%の数量増、今後もさらに堅調に伸長の見込み
- ・韓国、日本両拠点での生産体制強化と設備改善による合理化で 総利益率 50%を目指す

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわないようお願いいたします。

●本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部 IR担当 TEL:0748-20-3400 E-mail:ir@atect.co.jp